

本庁舎有料広告事業仕様書

1 目的

この仕様書は、賃借人において、モニター及びラックを設置し、これを媒体とした動画広告等（以下、「広告」という。）及び賃貸人の行政情報（以下、「行政情報」という。）を放映する事業の仕様を定める。

2 事業計画の策定及び協議

賃借人は、モニター及びラックの仕様、施工管理方法、実施体制及びスケジュール等、有料広告事業に関する事項についてあらかじめ賃貸人と協議し、当該事項を記載した事業計画書を賃貸人に提出しなければならない。

3 電気料の支払い

- （1）賃借人は、モニターに係る電気料を負担しなければならない。
- （2）モニターの電気料については賃貸人が立替払いするものとする。
- （3）賃借人が製品カタログ等により申告する消費電力、又は賃貸人が電力計等により測定する消費電力の、いずれか高い方の数値を採用し、それから算出される金額とする。

4 モニター及びラックの仕様について

- （1）設置できるモニター及びラックの仕様は、次の表に定める事項のとおりとする。

	モニター	ラック
種類	薄型カラーモニター	
サイズ	30～60 インチ程度で、本庁舎の景観、安全等を損なわないサイズ	高さ155cm 前後 横幅55cm 前後 奥行45cm 前後 で、本庁舎の景観、安全等を損なわないサイズ
デザイン等	本庁舎の景観を損なわないデザイン・色使いのもの	本庁舎の景観を損なわないデザイン・色使いのもの
取付け	壁掛け、又は天井吊りで、本庁舎の景観、安全等を損なわない方法	床置きで、本庁舎の景観、安全等を損なわない方法
配線等	電源配線のみとし、本庁舎の景観、安全等を損なわない配線方法とする。	
その他	電源配線のみとし、本庁舎の景観、安全等を損なわない配線方法とする。	

- （2）賃借人は、（1）の表の仕様を満たしていることについて、賃貸人に書面により承認を得なければならない。
- （3）音量調整については、賃借人は音量調整ができるリモコン等を賃貸人に貸与し、賃貸人は状況に応じて一時的に、音量0も含めて自由に音量調整をすることができる。音量調整をする際には、賃貸人は予め賃借人の承認を得てから行う。

5 モニター及びラックの設置について

- (1) 賃借人は、モニター及びラックの設置にあたっては、本庁舎の維持管理、景観、及び災害時の避難誘導等に配慮しなければならない。また、撤去等の際に、完全修復ができるよう、施工方法等に配慮しなければならない。
- (2) 賃借人はモニター及びラックの落下及び破損等により、本庁舎利用者等に危険を生じさせることの無いようにしなければならない。
- (3) モニター及びラックの設置、撤去、及び維持管理等に関する作業は、賃借人と賃貸人の調整の上、行うものとする。
- (4) 賃貸人の合理的な理由により、モニター及びラックの移動並びに撤去等の必要が生じた場合は、賃借人はその指示に従わなくてはならない。なお、当該指示に従うことにより生じる経費は、賃借人が負担する。
- (5) 賃借人は、賃貸人が指定する3か所のラック置き場のうち2か所への設置を行うものとする。ただし、最終設置場所は賃貸人と協議の上決定するものとする。
- (6) モニター及びラックの設置、撤去に関する作業時は、賃貸人が検査検収を行うものとする。

6 モニターの運用について

モニターの運用は、次の(1)から(3)に定める事項のとおりとする。

- (1) 放映時間
 - ア 平日 8時30分から17時までとする。
 - イ 土曜開庁日(月2回) 8時30分から12時までとする。
- (2) 放映内容
企業広告等の広告、及び行政情報とする。
- (3) その他
(2)の行政情報は、放映時間の25%以上としなければならない。

7 ラックの運用について

- (1) 賃借人は、動画広告を放映する広告主のパンフレットをラックに配架することができるものとする。
- (2) ラックに賃借人の連絡先及びパンフレットの内容について賃貸人が推奨するものでない旨を明記すること。

8 広告について

- (1) 賃借人は、広告の広告主及び広告内容について、「相模原市有料広告掲出に関する指針」を遵守するとともに、事前に賃貸人の審査を受け、その承認を得たものでなければ放映できない。
- (2) 賃借人は、(1)に定める審査を受けるため、放映する広告のデータ等必要な資料を、賃貸人に提出しなければならない。
- (3) 賃貸人及び賃借人は、広告主及び広告内容について、本庁舎の公共性、美観及び本庁舎利用者への影響に最大限に配慮しなければならない。
- (4) 賃貸人は、広告の内容・デザイン等が「相模原市有料広告掲出に関する指針」に違反しているとき及び本庁舎で放映する広告としてふさわしくないと賃貸人が合理的な理由により判断したときは、いつでも、賃借人に対して広告の内容等の修正を求めることができ、賃借人はこれに従わなくてはならない。
- (5) (4)の修正にかかる費用は、賃借人が負担する。

9 広告内容についての責任

賃借人は、広告の内容について、次の（１）から（３）に定める事項を遵守する。

- （１）広告内容等に関する一切の責任は賃借人が負うものとし、賃貸人は一切の責任及び負担を負わないこと。
- （２）広告内容等が第三者の権利を侵害するものではないこと及び広告内容等に関する財産権のすべてにつき合理的な権利処理が完了していることについて保証すること。
- （３）賃貸人に対して、第三者から広告に関連して損害を被ったという請求がなされた場合は、賃借人の責任及び負担において解決するものとし、賃貸人は責任及び負担を負わないこと。

10 行政情報について

- （１）放映する行政情報は、次のアからエに定める事項のとおりとする。

ア 行政情報は、静止画・音声付き・文字情報を基本的な仕様とする。

イ 行政情報は、賃貸人が賃借人に対して作成のための情報提供を行い、それを基に賃借人が作成する。

ウ 行政情報の更新頻度は、２週間～１ヶ月程度とし、１回の更新に含む行政情報は７本程度、年間に作成する行政情報は７０本以上８８本以内とする。

エ アからウに係る詳細は、賃貸人・賃借人協議のうえ、決定する。

- （２）行政情報の作成、管理、放映等に関する費用は、全て賃借人が負担するものとする。
- （３）賃貸人は、（１）のイに基づいて賃借人に対し提供する情報の素材が第三者の権利を侵害するものではないこと及びその素材の内容にかかる財産権のすべてにつき合理的な権利処理が完了していることを保証しなければならない。
- （４）賃貸人は、賃借人が作成した行政情報を、賃借人の許可なくモニター以外で放映してはならない。

11 維持管理等について

- （１）賃借人は、モニター及びラックの状態等、有料広告事業が適正に実施されるように努めなければならない。
- （２）賃借人は、モニター及びラックの毀損及び汚損、又は不測の事態が生じた場合等は、速やかに復旧されるよう最適な措置を取らなければならない。
- （３）ラックの維持管理に係る一切の経費は、賃借人の負担とする。

12 モニター及びラックの一時撤去等について

- （１）賃貸人は、次のアからオに該当する場合は、その問題が解決されるまでの間、賃借人にモニター及びラックの一時撤去等を指示することができ、賃借人はこの指示に従わなくてはならない。
 - ア 賃貸人の指定する期日までに貸付料の納付がないとき。
 - イ 賃借人が、法令又はこの契約の内容に違反したとき。
 - ウ 広告主又は広告内容が、法令又は「相模原市有料広告掲出に関する指針」に違反したとき。
 - エ その他、有料広告事業を継続することが社会通念上著しく不適切であると認められる相当かつ合理的な理由があると賃貸人が判断したとき。
 - オ イベント等によりラック配置場所を市が使用希望するとき。
- （２）（１）のアからエにおいて一時撤去及びその再開にかかる費用は賃借人が負担するものとする。

1 3 著作権等

- (1) 賃借人は、モニター、ラックの設置及び広告映像の制作に際して、著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利の対象となっている材料、履行方法等を使用するときは、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。
- (2) 賃貸人が、本契約に基づき施設に設置されているモニター、ラック及び広告映像が掲載されている写真又は画像データを、行政目的のために賃貸人が作成または関与する印刷物又はホームページ等に掲載する場合は、賃借人はその掲載を許諾するとともに、広告主からの許諾も得るように努めなくてはならない。ただし、広告主又は第三者の権利を侵害する又はおそれがある場合はこの限りではない。

1 4 権利義務の譲渡等の制限

賃借人はこの契約から生じる一切の権利又は義務の全部若しくは一部を第三者に譲渡、継承、担保提供してはならない。